

INON

イノン ストレートビューファインダーユニット II for X-2

イノン製品のお買い上げ有難う御座います。

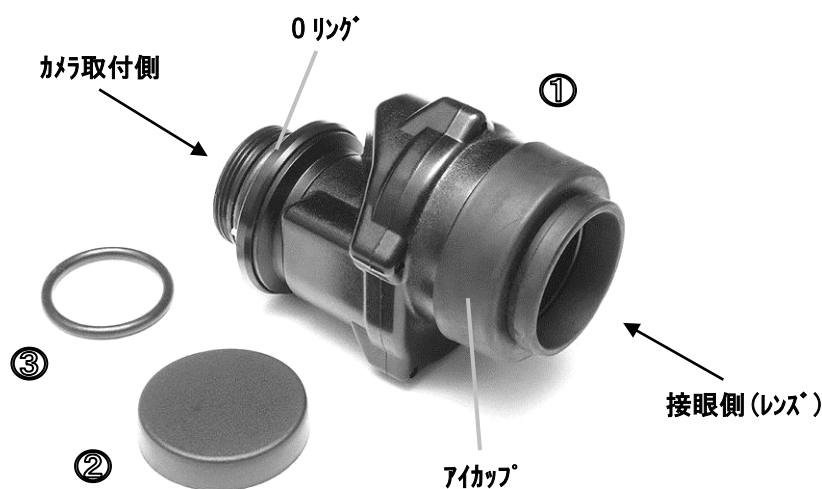
イノン ストレートビューファインダーユニット II for X-2 は、対応する「イノン X-2」ハウジングへ装着可能な、フルサイズ対応の小型・軽量のストレートビューファインダーです。

製品の主な特徴

- フルサイズ一眼のファインダーに対応する、従来にない見えやすさを実現したストレートビューファインダー。
- 光の損失が少ない大型プリズムを採用し、各光学面へ減反射コートを効果的に施すことにより、隅々まで明るく、クリアな視界を確保できます。
- 光学式より視野角が広い、ミラーレス一眼の電子ビューファインダー（EVF）をも光学設計に盛り込んでいるので、EVF や高倍率ファインダーのカメラを使用した時に起こりがちな、四隅の光量不足や画質低下を、極力排除しています。
- ファインダー倍率は陸上と同じ 1.0 倍なので、無理に倍率を上げた際の収差や見難さはありません。
- 水中アイトは 60mm のハイアイト設計。マスク越しでもケルことなく、快適に全視野を見ることが可能です。
- 大型プリズムを収納しているケース部には、肉厚な FRP（強化プラスチック）を使用し、小型軽量化と高強度化を両立しています。
- 従来のイノンビューファインダーと同様のマウント規格ですので、現行ビューファインダーを装着済みハウジングへの換装用オプションとしても使用可能です。
- カメラのファインダー視度調整を超えた遠視や老眼のユーザー用に、別売オプションで内蔵型の視度補正レンズ（+1.5D）をラインナップしています。（後述）

製品内訳

・ ストレートビューファインダーユニット II 本体 ①	× 1
・ レンズキャップ ②	× 1
・ 予備 O リング ③	× 1



対応ハウジング : ・ イノン X-2 for EOS10D ~ EOS80D、X-2 for EOS6D
(2019 年 7 月現在)

※ カメラのファインダー“フォーカシングスクリーン”の下や横にある、『液晶情報表示』部分（各カメラのファインダー像中、絞り値、シャッタースピード等が表示されている領域）が視認できるよう、余裕を持った光学設計をしていますが、今後発売されるカメラのファインダー仕様や、他社製ハウジングでの取付距離の違い等が原因で、光量が一部低下して、視認しにくい場合があります。ご留意下さい。

※ 弊社ハウジング「X-2 for EOS “20D”」のみ、一部ロットにある、ハウジング取付部の決め穴が上下の“直交仕様”をお持ちの方は、無償にて本ファインダーユニットの改造を承ります。詳しくは巻末の弊社連絡先まで、電話/FAX/E-mail でお問合せ下さい。

- 他ユニットの取り外し :
- ・ X-2 リアボディにファインダーユニット本体を固定している“ファインダーユニット固定ネジ環”の四方に切っただけの『溝』を確認します(a、画像は45°ビューファインダーユニットの物です)。
 - ・ この溝にX-2 付属の“X-2 ファインダーユニット専用工具”の『ピン』を嵌め、反時計方向にゆっくり回して(b)“ファインダーユニット固定ネジ環”を外した後(c)、X-2 リアボディの“Oリング面”を傷つけない様に、ファインダー本体をまっすぐに取り外します(d)。
 - ・ X-2 リアボディの“Oリング面”にネジや異物の付着等がないかを確認します(e)。



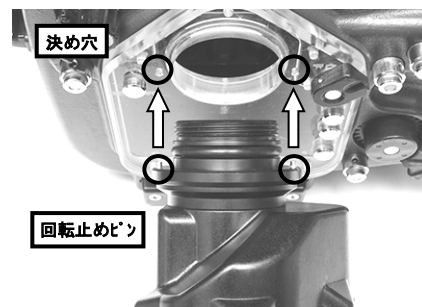
- 組み付け前の準備 :
- ・ ストレートビューファインダーユニット本体のカラ取付側にある、Oリング/Oリング溝にネジや異物の付着等がないか、X-2 への組み付けを行う前に必ず点検を行って下さい。
 - ・ 実際の点検は、X-2 付属の使用説明書内、「浸水を起こさない為に」をご確認の上、まずはOリングをセットした状態のまま行って下さい。必要に応じて、X-2 付属のインクノリスを指先に少量取り、Oリングの盛り上がった部分に薄く塗り伸ばして下さい(i)。
 - ・ Oリングを着脱/交換する必要がある場合には、下記の要領で行って下さい。
Oリングを左右から寄せて、持ち上がった部分をつまんでゆっくりと外した後(f)、Oリング、及びOリング溝に、傷や異物の無い事を確認して下さい(g、h)。X-2 付属のインクノリスを指先に少量取り、Oリングに薄く均一に塗り伸ばして下さい(h)。Oリングを交換する必要がある場合には、付属品の予備Oリングを同様に準備して下さい。Oリングにねじれない様にOリング溝に戻した後、今一度Oリング全体にねじれない事を確認して下さい(i)。



- 組み付け方法 :
- 「他ユニットの取り外し」と逆の手順にて、X-2 リアボディにストレートビューファインダーユニット本体を取り付けます。

右画像の通り、ストレートビューファインダーユニット本体の“回転止めピン”を、X-2 リアボディにある『左右計2個』の“決め穴”にそのまま合わせ、取り付けを行って下さい。

この際、X-2 リアボディの“Oリング面”、およびファインダーユニットの“Oリング”を傷つけない様に、ゆっくりとまっすぐに取り付けを行って下さい。また、“ファインダーユニット固定ネジ環”を締め付けすぎない様にご注意下さい。ファインダーユニットが取り外せなくなったり、X-2 リアボディが破損したりする可能性があります。



- “標準仕様”と“直交仕様”との変更について :
- ご使用のハウジング/カラの変更等で、“標準仕様”と“直交仕様”との変更をご希望の場合には、無償にて承ります。a) ご依頼内容[“標準仕様”→“直交仕様”、“直交仕様”→“標準仕様”、何れの変更をご希望か]、b) お届け先ご住所、c) ご連絡先の電話番号、d) お届け希望日時を明記の上、直接弊社までお送り下さい。なお、ご送付時の送料等、諸掛りはご負担下さい。

- 組み付け後の確認について :
- ご使用になる前には、ストレートビューファインダーユニット本体と X-2 との間が気密に保たれている事を確認する為、必ず、清浄な真水(30°以下)を満たした風呂等に、組み付け後のX-2を沈めて静置し、浸水が無い事を確認して下さい。従来のハウジングと異なり、お客様による手軽なファインダー交換が可能である一方、ファインダー交換を行わない場合であっても、“ファインダーユニット固定ネジ環”の緩みなどが発生し、意図せぬ浸水/落下などの事故に直結する可能性がある事に十分ご留意の上、毎回の使用前に必ず増し締めを行って下さい。

- 取り扱いについて :
- ご使用時/ご使用後の取り扱いについて、X-2 の使用説明書に記載の注意点に加えて、下記項目をお守り下さい。

- 太陽光が直接入射しない様にして下さい
カラ本体にダメージを与える可能性がある為、直射日光が入射しない様にして下さい。
下図の通り、付属のレンズキャップを被せ(ストレートビューファインダーユニット本体が乾燥している場合のみ可能)太陽光が直接入射しない様にする事をお勧めします。



● 内部に水分/異物等を入れないで下さい

ストレートビューファインダーユニット本体のカメラ取付側は、防水/防塵構造となっておりません。水分や異物等の侵入を防ぐため、X-2 内部を、常に異物等の無いきれいな状態にしておくと共に、X-2 リバティ着脱の際には、十分ご注意ください。特に、水しぶきの掛かる場所や湿気の多い環境での X-2 リバティの着脱は極力避けて下さい。

やむを得ず着脱を行う場合は、ストレートビューファインダーユニット本体を組み付けたまま、X-2 を真水で良く洗い、十分に水分を拭き取ってから、内部に水分/異物等が浸入しない様行して下さい。内部に水分/異物等が入った場合は、ご購入店を通して、修理をご依頼下さい。



● 分解しないで下さい

ストレートビューファインダーユニットは、高度な技術で組み立てられております。故障、水没事故等の原因となりますので、絶対に分解しないで下さい。故障した時や調子が悪い時には、ご購入店を通して、修理をご依頼下さい。弊社以外で修理、分解、改造等が行われた製品は、弊社保証範囲外となります。また、当該行為が原因で発生した損害についての補償は致しかねます。

ご使用後のメンテナンス
に関して

ご使用後は、必ずアイカップを外してから、X-2 本体と共に、塩抜きを行って下さい。塩抜きを行った後は、ストレートビューファインダーユニット本体の接眼レンズの水滴をエアガン等で吹き飛ばし、必ず接眼レンズ面に水滴が残っていない事を確認して下さい。そのままの状態、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、乾燥させます(完全乾燥には数日掛かります)。アイカップは、ストレートビューファインダーユニット本体を完全に乾燥させた後、アイカップ自身も完全に乾燥している事を確認してから元に戻します。



保管方法に関して

上記メンテナンス後、レンズキャップを被せ、X-2 本体と同様の条件で保管します。

オプション / 保守部品
について

- ・ レンズキャップ (ストレートビューファインダーユニット II for X-2 用)
製品内訳画像中の②です。
- ・ 交換用 O リング (45° ビューファインダーユニット/ストレートビューファインダーユニット (II) for X-2 用)
製品内訳画像中の③です。
ヒックアップファインダーユニット/ファインダーユニットの交換用 O リングとしては使用出来ません。十分ご注意ください。

- ・ 視度補正レンズ [+1.5D] for 45VF-II/STVF-II
カメラのファインダー視度調整範囲を超えて遠視や老眼の方に、調整範囲を(+1.5 ディ옵ター)シフトする視度補正レンズ。本ファインダーのマウント側の穴へ落とし、付属の工具で締めて固定します。(水中での着脱不可)



- ・ X-2 ファインダーユニット専用工具
対応する「X-2」ハウジングシリーズへ、本製品の着脱を行うための専用工具です。2006 年 10 月 16 日(月)以降出荷分の、各ファインダーユニットの取り付けに対応した「X-2」ハウジングシリーズには、当専用工具が予め『付属します』。また、2006 年 10 月 15 日(日)以前に、各ファインダーユニットの取り付けに対応した「X-2」ハウジングシリーズをご購入されたユーザー様には、当専用工具を『無償』で送付させていただきます(※)。つまり、「X-2」ハウジングシリーズをご購入されたユーザー様は、基本的に本専用工具を別途購入する必要はありません。ご注意ください。



(※) Fax / E-mail にて、お名前/ご住所/電話番号と共に、「X-2」シリーズハウジング製品に添付された保証書の写しを、本ページ末の宛先までお送り下さい。

イン X-2 ファインダーユニットシリーズ 主要性能(*1)	
名称	ストレートビューファインダーユニットII for X-2
全長 / 全幅 / 高さ (*2)	101.8mm / 72.2mm / 74.0mm
重量 (*2) [陸上]	305g
本体材質 / 表面処理	耐蝕アルミ合金 / 硬質黒アルマイト、PC等
硝材 / 表面処理	光学ガラス / 減反射コーティング
レンズ構成	3群5枚 + 高屈折率ホログラム 3ヶ
倍率 / 水中アイト	1.0倍 / 約60mm (陸上約45mm)
*1 性能、価格等、予告なしに変更する場合があります。予めご了承下さい。	
*2 アイカップを含み、レンズキャップを除く	

株式会社 イン 247-0061 神奈川県鎌倉市台 2-18-9
Tel. 0467-48-2174 / Fax. 0467-48-2178
E-mail support@inon.co.jp / URL http://www.inon.co.jp/
2019 年 7 月

—— ファインダーの視度調整について ——

陸上は明るいので目の瞳孔は絞られており、被写界深度が深い状態です。この状態でファインダーの視度調整をしても、被写界深度内でセットしているだけであり“ジャスピン”ではありません。

これに対し暗い水中に入ると、瞳孔(絞り)は徐々に開いて被写界深度が浅くなり、結果的にピント調整機能が衰えた老眼の方はファインダー像が見えなくなります。個人差や年齢にもよりますが、暗順応で瞳孔が開くまで 15 分前後かかります。

水中より暗い陸上の部屋で、かつ瞳孔が開くまで 15 分ぐらい待ってから、カメラのファインダー視度調整をすれば、そこが“ジャスピン”となり、暗い水中で瞳孔が開いてもピントを合わせることができます。

適切な方法で事前に陸上で視度調整を行えば、高価となる水中での視度調整機能は必要ありません。
